

子どものごろ飼ったアヒル 忘れられない：

# 悪性脳腫瘍 松山の女性 新庄で飼育中の ひな2羽提供へ AMDA



AMDAから贈られる  
アヒルのひな

国際医療ボランティア  
AMDA（本部・岡  
山市北区伊福町）は14  
日、悪性脳腫瘍と診

断された女性（79）  
「元気になって」と励  
ます。

病気が判明した後、自  
宅療養の励みになれば  
と、譲ってくれる団体  
を長女（48）がインタ-

ネットですべて探して

いて、AMDAがアヒルを使

用しているアヒル  
のひな2羽を贈る。  
女性の希望をかなえ

飼ったアヒルの愛らし  
さが忘れられず、家族  
に「もう一度飼いたい」  
と話していた。5月に

って有機無農薬のコメ  
を栽培していることを  
知った。

長女から連絡を受け  
たAMDAはプレゼン  
トを即決。スタッフの  
柴田宙樹さん（43）が、  
車で自宅まで届けると  
いう。長女は「母はア  
ヒルの名前を考えるな  
ど楽しみにしている。  
本当にありがたい」と  
話している。

（大江恵里奈）